

## (別添) 本校受賞者概要

### ○プロジェクト発表の部：最優秀賞

発表者：秋葉悠良（あきば ゆうら）（野菜経営学科2年・村山市出身）

発表課題名：すいかの生産性向上を実現する栽培技術の検討

～夏すいか日本一産地をけん引するリーダーを目指して～

発表要旨：村山市のすいかの大規模な産地においても、高齢化や作付面積の減少、異常気象による収量不足の課題がある。この課題を解決し、生産性向上を実現するため、大玉すいかの単位面積当たりの収量の増加及び小玉すいかの労働時間の短縮かつ収量向上の試験に取り組んだ。

### ○プロジェクト発表の部：優秀賞

発表者：吉高新太郎（よしたか しんたろう）（稲作経営学科2年・酒田市出身）

発表課題名：幻の米「亀ノ尾」の高品質栽培

発表要旨：庄内地域が発祥で各地のブランド米のルーツである品種「亀ノ尾」は現代の品種と比べて栽培が難しいが、地域の人に大切にされてきた伝統的な品種であり、近年は主に酒米として活用されている。そこで、「亀ノ尾」の高品質栽培と主食用米としての活用を検討した。

### ○意見発表の部：最優秀賞

発表者：菊地海良（きくち かいら）（果樹経営学科1年・大江町出身）

発表課題名：私の将来と農業の未来

発表要旨：地球温暖化による果実品質低下や少子高齢化による労働力減少など就農するにあたっての不安がある。そのため、卒業論文で高温対策の調査研究に取り組み、また、就農後には少ない労力で作業を進められる技術の導入と一緒に農業をする仲間を増やす取り組みを積極的に行う。

### ○意見発表の部：優秀賞

発表者：深瀬和華（ふかせ のどか）（畜産経営学科1年・東根市出身）

発表課題名：乳用種オス子牛の殺処分をなくしたい

発表要旨：近年の飼料高騰の影響で肥育農家の経営が悪化し、乳用種のオス子牛が殺処分されている。そこで乳用種の特徴である赤身と国産飼料100%の餌で生産し差別化を図り、サイレージ化した飼料用米を活用し飼料費を抑える。また、農場や消費者や多くの方々の理解と協力を得て、クラウドファンディングによる乳用種1頭の肥育を提案したい。